

# 事業実施結果について

※実績値は令和6年3月末日現在

No.	交付金対象事業名	事業概要	事業実績額 (うち交付金額)	重要業績評価指標(KPI)				事業評価 (自己評価)	次年度の取組	外部有識者の 評価・意見
				指標	指標値	実績値	達成率			
1	地域コミュニケーションプラットフォームによる町の魅力創出事業	<p>【全体概要】 平常時のみならず有事の際に、町民へ適切かつ安定した情報流通と、双方向通信が可能なコミュニケーションプラットフォーム（LINE等）を導入する。行政サービスやイベント観光情報、防災/災害情報等を適切に提供し、町民や観光客に対する安全・安心と町の魅力向上を図る。</p> <p>【交付金事業期間】 令和4年度</p>	26,607,900円 (13,303,950円)	①プラットフォーム利用者数	1,400人	一人	-	サービス構築の完了が年度末となったため、次年度よりサービスの成果として指標を計測する。	年度当初でのサービス提供と、周知/普及活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価している。住民サービス向上として、公共施設の空き状況の確認、予約や支払など、ますますオンライン化が進み、サービスが拡大されていくことを期待する。</li> </ul>
				②オンライン申請・申込利用件数	10件	一件	-			
				③移住・定住相談者数の増加	10人	一人	-			
2	データ連携基盤を活用した「ライフログモデルによる共助型社会」の創出事業	<p>【全体概要】 矢吹町と東京都狛江市で子育て支援を軸としたサービス提供及びデータ連携基盤の活用による子育て情報配信、子どもの活動履歴の可視化、オープンデータ提供を行うための基盤整備を行う。また、子どもを取り巻く活動履歴（ライフログ）を分析し、主体的なまちづくりへの参加（行動）を促し、地域活性と次世代の産業人材育成を図る。</p> <p>【交付金事業期間】 令和5年度</p>	52,525,000円 (26,138,000円)	①プラットフォーム利用者数	4,200人	3,164人	75.3%	①利用者数はデジタルを活用する本サービスのメリットを享受する指標であるが、目標値を下回った。周知/普及活動等について改善する必要がある。ユーザーからは概ね好評をいただいていることから、登録者の増加に向けた取組みを強化していく。	ユーザー数の増加と、住民ニーズに合った効果的な情報発信に戦略的に取り組む ・Instagramを活用した登録者増加施策 ・項目/居住地域/年代などユーザーの属性情報やニーズに応じた情報発信への機能拡張 ・既存情報発信媒体の再定義と一元管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等による情報発信は一方的でなく情報の鮮度も大事。子育て世代への様々なお知らせなど今後も有効なデジタル活用を期待する。</li> </ul>
				②オンライン申請・申込利用件数	40件	2件	5.0%			
				③移住・定住相談者数の増加	20人	23人	115.0%			
2	データ連携基盤を活用した「ライフログモデルによる共助型社会」の創出事業	<p>【全体概要】 矢吹町と東京都狛江市で子育て支援を軸としたサービス提供及びデータ連携基盤の活用による子育て情報配信、子どもの活動履歴の可視化、オープンデータ提供を行うための基盤整備を行う。また、子どもを取り巻く活動履歴（ライフログ）を分析し、主体的なまちづくりへの参加（行動）を促し、地域活性と次世代の産業人材育成を図る。</p> <p>【交付金事業期間】 令和5年度</p>	52,525,000円 (26,138,000円)	①デジタル活動証明発行数	一件	一件	-	サービス/基盤の構築が完了したため、次年度よりサービスの成果として指標を計測する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの実装</li> <li>1. 学びの体験/地域活動への参加</li> <li>2. 人・地域の「モノ」「コト」の「見える化」「見せる化」</li> <li>3. 学び/健康/体験の流通</li> </ul>	評価指標がないため、特に意見なし。
				②社会活動参加サービスの満足度	一ポイント	一ポイント	-			
				③デジタル活動証明がキャリア形成等に活用された数	一件	一件	-			

# 事業実施結果について

※実績値は令和6年3月末日現在

No.	交付金対象事業名	事業概要	事業実績額 (うち交付金額)	重要業績評価指標(KPI)				事業評価 (自己評価)	次年度の取組	外部有識者の 評価・意見
				指標	指標値	実績値	達成率			
3	矢吹町スポーツ×デジタル振興プロジェクト	<p><b>【全体概要】</b> スポーツの力で地方創生を行うスポーツの価値を活用した特色ある「まちづくり」に取り組む。スポーツをテーマにまちの賑わいを創出し、町民サービスの向上と関係・交流・流入人口の増加を目指す。取組①幸福感向上を実現するソフト事業（スポーツ科学を軸にした健康増進プログラム等）の開発と実証 取組②ソフト事業の運営から情報発信まで持続的に行う体制としてスポーツコミッションを設立し多世代にわたる課題を解決（体力/運動能力/健康/医療/フレイル予防/機能改善等） 取組③活動拠点としてハード整備を進めソフト事業と相乗効果を出す取組み</p> <p><b>【交付金事業期間】</b> 令和5年度～令和7年度</p>	38,504,000円 (19,252,000円)	①ソフト事業への参加者数	340人	650人	191.2%	<p>①ソフト事業への参加者数は、地域住民の参加頻度から満足度、そして交流・流入人口を検証するデータであるが、目標数を大きく上回った。 また、アンケート結果も好評であり、矢吹町にしかない付加価値の高いソフト事業が評価されていることから、大変有効であったと評する。</p>	<p>1. スポーツコミッション（運営組織）の設立 2. ハード整備（クラブハウス） 3. 実証事業の展開（既存施設活用）と人材育成 4. スポーツ科学を軸にしたソフト事業の開発（親子参加型プログラム、アウトドアフィットネス） 5. 情報発信の強化（広報/プロモーション/PR/広告）</p>	<p>バスケットボールのイベント開催など町のスポーツ振興としても評価している。幅広い年代の方を対象にしながら、デジタル化とあわせ、今後のさらなる普及促進を期待する。</p>
				②ソフト事業の開発件数	5件	5件	100.0%			
				③事業関連の収入	－円	－円	-			
				④スマートパーク（仮称）利用者数	－人	－人	-			